風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより　No.１２

令和２年１０月７日発行

全校稲刈り

上：3·4年アケビ採り　下：1·2年クリ拾い

豊かな秋の恵みと御協力に感謝

５月に田植えをした「風の子米」が黄金色に実り、９月２９日、さわやかな秋晴れの下、稲刈りをしました。子供の手だけでは田んぼの稲を全部刈り取ることができませんでしたが、“はさ”いっぱいに干された稲を見て、秋の恵みの豊かさを感じました。この間、稲の管理や各種手配、子供たちへの指導など、○○○○(※)さんから全面的にお力添えをいただきました。また、田植えと稲刈りには、○○○○さんと○○○○さんからも御協力いただきました。木浦の自然と地域の方々の惜しみない御協力により、今年も「風の子米」を収穫できたことは無上の喜びです。

翌９月３０日、１·２年生は“クリ拾い”、３·４年生は“アケビ採り”を体験しました。いずれも○○○○さんの御尽力で実現しました。○○さんには、コーディネーターとして教育活動と地域をつなぐ役割を担っていただき、私たちの地域学習や体験活動がますます充実しています。なお、今回のクリは、○○○○さんから御提供いただきました。拾った分に加え、全校児童にもクリを１袋ずつくださいました。学校を支えてくださる地域の方々の深い愛情に心から感謝いたします。

※ＨＰ版では個人名を伏せています。

第２回「風の子」学校運営協議会

９月３０日、第２回「風の子」学校運営委員会を開催しました。まず、１学期末に行った学校評価の結果とそれに伴う改善策を話し合いました。次に、今後の教育活動についての助言をいただきました。

「あいさつの日」について

１０月から毎月の第２・第４火曜日に実施

〇より多くの地域の人から参加してもらうために、インパクトのあるちらしを作ってはどうか。
〇まず大人から。地域の人とのコミュニケーションが増え、明るい地域づくりになる。
〇活発に挨拶が交わされる地域には不審者も入りにくく、防犯にも有効。
〇公民館だよりで啓発することも検討する。

１０月は、新潟県いじめ見逃しゼロ強調旬間

１０月６日の全校朝会で、校長がいじめ問題について子供たちに話をしました。いじめは最悪の場合、命も奪ってしまう許されない行為です。近年は、ＳＮＳを介したネットいじめも深刻になっており、小学生による事案も報告されています。更に今年は、新型コロナウイルスに関わる誹謗中傷も大きな社会問題になっています。全ての人がいじめを許さない強い信念を持つとともに、自分も周囲の人も、誰もがいじめの当事者にならないよう毅然とした行動をとっていただきたいと思います。

新潟県いじめ問題対策連絡協議会としての共通メッセージ

■いじめは、いじめを受けた児童生徒の心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は心身に重大な危険を生じさせるおそれがある。
■いじめの問題は、児童生徒だけの問題ではなく、心豊かで安全・安心な社会をいかにしてつくるかという、県民みんなで考えていくべき課題である。
■新潟県いじめ問題対策連絡協議会では、いじめに悩む児童生徒を救うため、学校、家庭、地域、その他関係機関が強いネットワークをつくりあげる。
■「いじめをしない！決して見逃さない！決して許さない！」「見て見ぬふりはしない！みんなで声を掛け合う！」を合い言葉にして、いじめ防止に全力で取り組む。
■令和2年度も引き続き「ネットいじめ防止」を取り上げ、「SNS等の危険性に関する保護者・地域への意識啓発」と「家庭での望ましいネット利用のあり方」に焦点を当てた取組を展開し、いじめの未然防止に努める。
■さらに、今年度は新型コロナウイルスに関する差別や偏見が広がらないように尽力する。

いじめ防止のため、新潟県小学校長会から要請があり、このメッセージを掲載しました。
保護者・地域の皆様も意識して行動してくださいますようお願いします。